



宇^う土^と御^{おん}獅子^し舞^{まい}保^ほ存^{ぞん}会^{かい}

概要

団体名	宇土御獅子舞保存会
代表者	杉本 信一
構成	32名
推薦団体	宇土市
主な活動地	宇土市

本賞

宇土御獅子舞保存会は、宇土市本町一丁目の住民が中心となって、熊本県指定重要無形民俗文化財「宇土の御獅子舞」を受け継いでいる団体です。

当会では、毎年十月の西岡神宮秋季例大祭において「宇土の御獅子舞」を奉納してこられました。当獅子舞は二百八十年にわたり完成当初の型を忠実に受け継がれていることと、年間を通して厳格に執り行われる関連儀式などの地道な活動で、無形民俗文化財として高く評価されています。

近年は市内中学校文化祭での生徒による獅子舞演舞を指導するなど、学校と連携した取組みを行われています。このことは後継者育成のみならず、地域で連綿と受け継がれてきた歴史・文化に対する理解の向上にもつながっています。

このように、当会は、「宇土の御獅子舞」の保存継承を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

- 昭和三十二年 第一回全日本民謡踊大会にて伊勢神宮に舞方奉納
- 昭和三十六年 「宇土の御獅子舞」が熊本県重要無形民俗文化財に指定
- 平成十四年 熊本県文化財功労者表彰
- 平成十五年 第四十五回九州地区民俗芸能大会出演
- 平成二十一年 平成二十年度地域伝統文化功労者表彰